

2014年9月1日佛山市南海区環境運輸和城市管理局（仏山市環境保護局）

ホームページより：

田宇化工：全市初の VOC オンラインモニタリングを実現

佛山市田宇化工有限公司は、佛山市が構築した初めての VOC オンラインモニタリング測定ポイントである。今回導入された VOC オンラインモニターは、国家環境サービス業華南集積区企業の佛山和源活性炭再生科技有限公司が、日本の技術を導入して開発した自主的知的財産権を持つ製品である。

現在、この VOC オンラインモニタリングシステムが既に設置が完了し、九江鎮の環境保護モノネットワーク（物聯網）センサ（感知）モニタリングセンタープラットフォームのネットワークに接続され、企業から排出された総 VOC やベンゼン、キシレン、エチルベンゼン等の特徴的な汚染物質濃度の遠隔監視を実現した。これは、南海区環境保護部門がモノネットワーク技術を応用した有機排ガス環境管理に対する新しい取組であり、示範的な意義がある。

2014年9月4日広東省環境保護産業ネット（WWW.GDEPL.COM）より：

広東佛山、全市初の VOC オンラインモニタリングを実現

南海区環境保護部門によると、佛山初の VOC（揮発性有機化合物）オンラインモニタリングの測定ポイントは、先日佛山田宇化工有限公司にて構築され、稼働した。これにより、環境保護部門は、企業から排出された VOCs が排出基準をオーバーしたかを遠隔的に監視できるようになった。

南海区環境保護部門の紹介によると、この VOC オンラインモニタリングシステムは、国家環境サービス業華南集積区企業の和源活性炭再生科技有限公司が、日本の技術を導入し開発した自主的な知的財産権を持つ製品である。現在、この VOC オンラインモニタリングシステムは、既に設置が完了し、九江鎮の環境保護モノネットワーク（物聯網）センサ（感知）モニタリングセンタープラットフォームのネットワークに接続され、企業から排出された総 VOC やベンゼン、キシレン、エチルベンゼン等の特徴的な汚染物質濃度の遠隔監視を実現した。これは、南海区環境保護部門がモノネットワーク技術を応用した有機排ガス環境管理に対する新しい措置であり、示範的な意義がある。モニタリング技術の開発につれ、環境保護部門は、今後他の VOC 排出企業にもオンラインモニタリング測定ポイントを設置する予定である。

揮発性有機物（VOC）は、空気中の隠し殺し屋であり、オゾンの発生を影響し、PM2.5 の促成の重要条件にもなる。昨年、佛山既に全市 343 社に対し揮発性有機物に対する重点排出企業の改善任務を完成し、今年また新たに 174 社の改善を始めている。主に印刷、靴製造、家具、自動車製造等業界の企業である。揮発性有機化合物排出のある工場ブースに、必ず排ガスの収集、回収、浄化装置設置する様に提唱し、原／補材料の水性塗料への改造等に関する削減技術の促進や、単純活性炭による吸着等の排出状況不安定の処理技術の淘汰等、VOC の排出基準値を確実にかつ安定的に目標値に満たせる様な取組みを多く実施した。